



志岐 隆史
全日空商事
取締役社長

居酒屋 志岐

「行ってみれば分かるから」と言われ、向かった会場のエレベータが開くと、「本日、オープン！」という垂れ幕と写真にある看板が正面に電飾されていました。ビックリしながら中に入ってみると、そこはまるで昭和のビアガーデン。お祭りの提灯がたくさんぶら下がり、机と椅子は長板と瓶ビール箱製で、新聞紙のテーブルクロスには大皿料理がたくさん並んでいました(普段はフレンチレストランだそうです)。

仕掛け人の佐藤光明さんとの出会いは、ホテルの喫煙室でたばこの火を貸したのがきっかけです。「昨日、札幌に赴任しまして、右も左も分からず」と、ご相談したところ、「僕がいろいろな人に合わせてあげるよ」と数多くの方をご紹介いただきました。

ここで、写真のご案内状の「おすすめメニュー」にご登場された方々のご紹介です。「光明煮付け・金5万両」→エフエム北海道社長の佐藤光明さん、「まむし入りたまみ・お通し」→雑誌「O.tone」で有名なあるた出版の平野たまみ社長、「真紀子と一夜漬け・3兆円」→ファッションデザイナーの越智真紀子先生、「スター学のテリーヌ・250億円」→札幌三越店長の宮田学さん、「エクセレントまゆみ・時価」→札幌コンサートマスターの大平まゆみさん、「林っぺのふんどし・サービス」→会場を提供されたモントレ札幌の林敬一支配人(肩書きは2008年当時のものです)。

赴任してから半年たったころの私のお誕生日会でした。北海道民の新参者に対する温かさが胸に沁みます。このときから「人には壁をつくらず、フルオープンであろう」と固く心に決めていました。この後、半年足らずで北海道を離れましたが、その一年間にお会いした多くの方々とのつながりは現在も続いています。この看板はそれ以降もずっと持ち歩いていて、今でも社内のイベントで大活躍しています。

